

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	指宿市立開聞中学校	生徒数	94人
-----	-----------	-----	-----

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

$4(x-5)(x-2) \geq 80$  ⇔  $x-5, x-2$   
 $(x-5)(x-2) \geq 20$  ⇔  $x > 8$  かつ  $x < 2$   
 $x^2 - 7x + 10 \geq 20$  ⇔  $x^2 - 7x - 10 \geq 0$   
 $x^2 - 7x - 10 = 0$  ⇔  $x = 15$  又は  $x = -2$   
 $(x-15)(x+2) = 0$   
 $x-15=0$  ⇔  $x=15$  不適  
 $x+2=0$  ⇔  $x=-2$  不適  
 <感想・次回の目標・学んだことや新たな疑問など>  
 今回のテストはあまり勉強もしてなかったのに点数が悪かった。出来るところは完璧に、応用問題にあと少し時間を長く取れるようにこれからの勉強を意識して、習ったことを忘れないうちに日々の復習をがんばりたい。

○ 数学による振り返り

単元末テスト後、間違えた問題の部分を訂正し、なぜ間違いが起きたか自分の解き方を分析することで、次の試験に備えています。

○ 音楽による振り返り

授業での目標を決め、授業後に気付いたことや感じたことをまとめています。

日付	本時の目標	気が付いたことや感じたこと	自己評価
4/16 (水)	課題曲の音取りをしよう!	もう少し高い音が最後まで出せるようにしたい。	A (B) C D
4/20 (水)	課題曲を練習しよう!	のどをあげて歌えるようになるために、発声練習(あいが)をがんばる!	A (B) C D

4 自分を振り返ろう。(登場人物のような状況がなかったか、自分ならどうするか)

僕は骨折しているアサヒの立場になって、本当に野球を好きだと思っていて、でもこの話を聞いて、改めて今、自分が野球の取り組み方を、少しおぼろしく思い出した。

○ 道徳による振り返り

資料の登場人物の立場を、自分の経験を振り返りながらこれまでとこれからの行動を考えています。

感想(自分の①演技の感想とこれまでの②練習の取り組み方の感想の両方を記述すること)

① 側立ブリッジがまわりにできなかった。ハンドスプリングができた。  
 ② ハンドスプリングをたくさん練習したけど、こわくて途中でとまってしまう。発表までにはできなかったけど、側立ブリッジは最初からできるようにできた。

○ 保健体育による振り返り

授業で行った実技の部分において、自分の気持ちや練習の取り組み方について振り返り、次の実技に向けて意欲を高めようとしています。

取組についての概要 (成果)

各教科(数学・音楽・保健体育・道徳)における実践

それぞれの教科で「振り返り」を行っている。どの教科も毎時間の「振り返り」は難しいが、単元などの節目に行くことで学習したことを自分で再確認することができる。また、自分の行動を「振り返る」ことにより、これからの行動に意識をもって臨むことができる。

今後は、タブレットなどのICT機器を活用することで、その場で集約をし、自分の「振り返り」だけではなく、周りの生徒の意見と共有することで、多面的・多角的な考えをもちやすい環境や状況を作っていく工夫をする必要があると考える。